



学びの多様化学校訪問



夏休みが明けて一週間が経ちました。きびしい残暑が続いていますが、9月に入り朝夕少し秋の気配が感じられるようになりました。休み中の生活リズムから規則正しい生活への切り替えはできたでしょうか。

さて、夏休み中の視察の報告をさせていただきます。8月24日に学びの多様化学校「大阪市立心和中学校」に行ってきました。学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）とは、不登校児童生徒を対象とする特別の教育課程を編成して教育を実施する学校のことです。2005年7月に学校教育法施行規則が一部改正されて設置が可能となりました。現在全国に84校設置されており、今回訪問した心和中学校は大阪市日本橋で2年前に開校した学校です。

校長先生が快く迎えてくださり校内を丁寧に案内してくれました。不登校の生徒のための学校ということで、言うまでもありませんが施設面ではあらゆるところに心理的なサポートの工夫がされていました。リラクスルームや談話室等の特別な部屋の設置はもちろん図書室や保健室にもゆったりとできる空間が用意されていて、壁の色や家具また緑にもこだわった設定になっていました。また、学習環境においても教室の机は機能性だけでなく生徒たちの心情に配慮した形状のものが設置されていましたし、学ぶ場所としては、ゆったりと自習できる部屋もありました。教育内容としては、一般の中学校に比べて授業時数は少なく特別のカリキュラムが設定されており、午後から登校する日課となっていました。校則はありません。生徒自ら決めたスマホルールなどがあるのみです。登校した時の出席の入力や校内の居場所表示板の利用はシステム化されていて、授業に出なくても居場所を示すことになっています。チューターは生徒選択制です。一斉授業は最も難しいと言われていましたが、習熟度別分割授業やTTで授業を行っているとのことでした。また、教員は教室以外の部屋にも常時配置されていて生徒との関係が築きやすい位置にいます。カウンセラーは4名輪番制で毎日配置されているとのことでした。

設備やシステムそして職員の対応も全て生徒に寄り添うものとなっていて、ここには安心できる居場所があり安心して頼れる人がいます。初めは心を閉ざしていた生徒もしだいに心がほぐれてくるそうです。もちろんそうでない生徒やずっと登校できない生徒もいるそうですが、次のステージで復帰できればと、働きかけを続けているそうです。

不登校支援において私たちが目指すべき支援のあり方や考え方をたくさん学ばせていただきました。このことを多くの人と共有し、あじさいルームの運営に生かしていきたいと思います。

カレーライス クッキング



7月3日（金）に毎年7月の恒例行事「カレーライスクッキング」をしました。今年もあじさい農園で採れたジャガイモとタマネギを使って作りました。参加者は小学生1名、中学生4名の計5名とスタッフ4名でした。初めは男子3名がカレー、女子2名がご飯とサラダ作りを担当。途中から女子もカレー作りに合流してそれぞれ炒めたお肉と野菜を大鍋に入れて煮込みました。サラダはレタス、キュウリ、タマネギ、ミニトマトをカットしドレッシングも作りました。

1年間に何度もクッキング体験をしているので子ども達は手際良く調理できるようになっています。予定より早くできあがりみんなでおいしくいただきました。



クッキング体験は、美味しいものを作る楽しさ、食べる楽しさを人と一緒に共有できるのがいいです。作業を通して自然に交流できますし、一緒に食べると心がほぐれます。



第3回「あじさいカフェ」 9月25日（金）開催

あじさいルームでは、学校を休みがちなこどもの保護者が交流できる場として「あじさいカフェ」を2ヶ月に1回開催しています。あじさいルームのスクールカウンセラーが進行役をします。保護者の皆さんが気軽にお越しいただける場、安心して想いを話し、聞いて繋がる場となればと思っています。あじさいルームに通室していないこどもの保護者の方も参加できます。お茶を囲む交流の場でぜひ、一緒にお話しませんか。

【今後の予定】9/25、11/27、1/22、3/12

15:00～17:00 かつらぎ総合文化会館3階

